

子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

令和8年4月20日

報告事項件名	頁
1 第2期第2回（令和7年度）「子どもの健康・生活実態調査」報告書 【概要版】について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和8年度の産後ケア事業における拡充について・・・・・・・・・・	3

(衛 生 部)

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	第2期第2回（令和7年度）「子どもの健康・生活実態調査」報告書【概要版】について
所管部課名	衛生部こころとからだの健康づくり課、あだち未来創造室子どもの貧困対策・若年者支援課、教育指導部教育政策課、教育指導課、学校運営部学務課
内容	<p>令和7年9月下旬～11月中旬に実施した、第2期第2回「子どもの健康・生活実態調査」について、報告書【概要版】を作成したので報告する。</p> <p>1 主な調査結果</p> <p>調査から、以下のことが新たに見えてきた。詳細は別添資料「第2期第2回（令和7年度）子どもの健康・生活実態調査報告書【概要版】のとおり。</p> <p>(1) <u>幼少期の本の読み聞かせが、子どものレジリエンス向上につながる幼少期に継続的に本の読み聞かせを受けることがレジリエンスの向上に関連している</u>可能性があり、<u>特に2歳までに開始して継続することが効果的である</u>ことが示された。</p> <p>(2) <u>動画投稿サイトやゲームの利用は、子どもとルールを決めて守らせることが大切</u> 単に利用を制限するのではなく、<u>ルールを子どもと相談して決めるなど、家庭内での合意形成や、継続的にルールを守らせるなど一貫した関わりを通じて利用を調整することが、子どものレジリエンス形成に重要である</u>可能性が示唆された。</p> <p>2 報告書【本編】について</p> <p>引き続き集計結果分析を続け、より詳細な調査結果がまとまり次第、区ホームページにて公表する。</p> <p>3 今後の方針・予定について</p> <p>(1) 新たに見えてきたことを庁内で共有するとともに、調査を共同実施している東京科学大学とも協力しながら、子どもたちにとってより効果のある取組の充実に繋がる分析や、施策の検討を行っていく。</p> <p>(2) 次回の調査は、令和9年10月頃に小学4年生を対象に実施予定（令和6年度の小学1年生を継続調査）。</p>

子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	令和8年度の産後ケア事業における拡充について																									
所管部課名	衛生部保健予防課																									
内容	<p>令和8年度の産後ケア事業の拡充について、下記のとおり報告する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 医療機関型産後ケアにおける自己負担半額化について 拡充</p> <p>医療機関等が実施する産後ケア（宿泊型・日帰り型・訪問型）において、自己負担額を半額にすることで、産後ケア事業の利用機会及び利便性の充実を図る。</p> <p>(1) 自己負担額一覧</p> <table border="1" data-bbox="448 969 1369 1451"> <thead> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宿泊型</td> <td>基本利用料</td> <td>5,000円</td> <td>→ 2,500円</td> </tr> <tr> <td>多胎児加算</td> <td>2,000円</td> <td>→ 1,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日帰り型</td> <td>基本利用料</td> <td>2,500円</td> <td>→ 1,250円</td> </tr> <tr> <td>多胎児加算</td> <td>500円</td> <td>→ 無料</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">訪問型</td> <td>基本利用料</td> <td>2,000円</td> <td>→ 1,000円</td> </tr> <tr> <td>多胎児加算</td> <td>500円</td> <td>→ 無料</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 生活保護世帯・住民税非課税世帯は、自己負担を免除しているため、変更なし。</p> <p>(2) 事業開始日 令和8年4月1日利用分から</p>	種類		変更前	変更後	宿泊型	基本利用料	5,000円	→ 2,500円	多胎児加算	2,000円	→ 1,000円	日帰り型	基本利用料	2,500円	→ 1,250円	多胎児加算	500円	→ 無料	訪問型	基本利用料	2,000円	→ 1,000円	多胎児加算	500円	→ 無料
種類		変更前	変更後																							
宿泊型	基本利用料	5,000円	→ 2,500円																							
	多胎児加算	2,000円	→ 1,000円																							
日帰り型	基本利用料	2,500円	→ 1,250円																							
	多胎児加算	500円	→ 無料																							
訪問型	基本利用料	2,000円	→ 1,000円																							
	多胎児加算	500円	→ 無料																							

2 日帰り型（医療機関型）産後ケアの追加について **拡充**

新たに以下の医療機関を追加する。

(1) 追加する医療機関

東京リバーサイド病院（荒川区南千住）

(2) 医療機関型産後ケア施設別実施状況一覧

No.	施設名称	住所	宿泊型	日帰り型
1	待木医院	足立区西竹の塚 2-13-17	2か月 未満	
2	東京女子医科大学附属 足立医療センター	足立区江北 4-33-1	3か月 未満	
3	横川レディースクリニック	足立区保木間 1-22-15	4か月 未満	
4	長門クリニック	足立区中川 2-5-8	4か月 未満	4か月 未満
5	綾瀬産後ケア	葛飾区小菅 4-8-10	2か月 未満	4か月 未満
6	東京かつしか赤十字 母子医療センター	葛飾区新宿 3-7-1	2か月 未満	
7	スワンレディースクリニック	北区王子 4-27-7	変更 3か月 未満※	
8	東京リバーサイド病院	荒川区南千住 8-4-4	4か月 未満	拡充 4か月 未満
9	東都文京病院	文京区湯島 3-5-7	4か月 未満	

※ スワンレディースクリニックの受入れ限度の月齢を「4か月未満」から「3か月未満」へ変更

(2) 利用開始日

令和8年4月1日利用分から

3 「すこやかプラザ あだち」におけるデイサービス型産後ケアの追加について **拡充**

新たに産後5か月から1歳未満を対象としたデイサービス型産後ケア開始する。

(1) 実施曜日・定員

毎週木曜日・各回3名

(2) 対象

産後5か月から1歳未満の産婦と子ども **拡充**

(3) 自己負担額

500円

(4) 事業者

NPO法人 子育てパレット

(5) デイサービス型産後ケア施設実施状況一覧

No.	施設名称	住所	利用日
1	すこやかプラザ あだち	足立区江北5-14-1	月曜日・金曜日 産後4か月未満の産婦と子ども ----- 木曜日 拡充 産後5か月から1歳未満の産婦と子ども
2	マタニティ&ベビー オハナ ハウス Ohana	足立区梅島3-4-8 うめじまKSビル2階	火曜日 産後4か月未満の産婦と子ども ----- 水曜日 産後5か月から1歳未満の産婦と子ども

4 訪問型産後ケアの訪問助産師の増員について **拡充**

外出が困難な母親の心身ケア、乳房ケア及び育児指導のため、助産師の家庭訪問による訪問型産後ケアについて、家庭訪問する助産師が増えたので報告する。

(1) 訪問助産師

公益社団法人 東京都助産師会 葛飾・足立地区分会に所属する足立区内助産所または助産師

(2) 増員 **拡充**

5名 → **6名** (4月1日現在)

5 今後の方針

(1) 医療機関型産後ケアにおける自己負担半額化などの産後ケアの情報については、あだち広報・区ホームページ・SNS等で周知していく。

(2) 区医師会へ情報提供していく。